情報機器を活用した総合的な学習の時間

藤沢小学校（実践・報告者）　坂下　司

１　単元名　　「昔のくらし」を調べよう　　第３学年（総合的な学習の時間）

２　単元の目標

１０月、１１月に行った、「おじいさん、おばあさんとふれ合う会」で教えていただいた、おじいさんおばあさんたちが子どもの頃の遊びや学校の様子に、子どもたちはたいへん興味を持ったようだった。

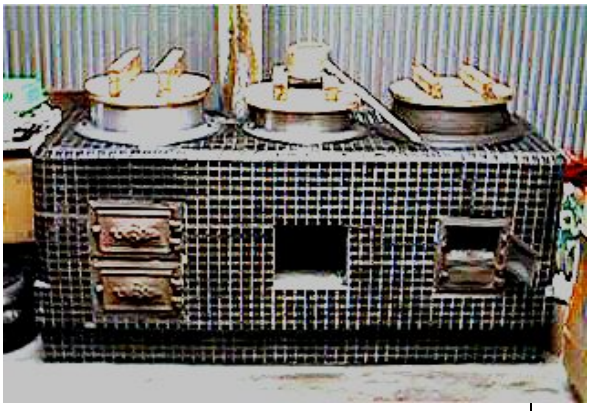
そこで、昔のくらしの様子を調べ、今の生活について見直そうとする心を育てる。

３　情報機器活用の意図

本単元は、自分の興味関心のあるものについて、本やインターネットを使って調べていく活動が中心となる。これまでに児童は、ジャストスマイルを使って作品を作ったり、算数や理科、音楽などの学習ソフトを使って学習したりしており、コンピュータに慣れ親しんできている。そこで、コンピュータを使って調べたり学習したりするだけでなく、発表資料作りを行って発表することで、より一層、自分の調べたことを分かりやすくまとめることができるのではないかと考えた。

４　実践の概要

段階	時間	活　動　内　容	支　援　（○）　と　評　価　（☆）
つかむ	3	①　「おじいさんおばあさんとふれ合う会」での、子どもの頃の遊びや生活の様子について思い出す。 ②　話し合いをもとに自分が調べることを決める。	○　子どもの頃どんな遊びをしていたか、子どもたちに話し合わせることで、思い出させるようにする。 ○　生活の様子で、どんなところが今と違っていたか話し合わせる。 〔例〕・水くみ　・井戸　・かまど ・風呂わかし　など ○　それを選んだわけもしっかりワークシートに記入させる。 ☆　自分なりに調べることを決めることができたか。
調べる	7	③　インターネットでの調べ方について知る。 ④　調べる方法を考え、調べ学習を進める。 ・本	○　全員で、インターネット検索の練習をする。 ○　いろいろな方法で調べてよいこと、じっくり調べることができるよう、言葉がけをする。

		・インターネット	☆　調べたことをワークシートに記入し、根気強く活動している。
まとめる・広める	6	⑤　調べたことを「はっぴょう名人」でまとめる。 ⑥　発表する。	○　まとめ方については、「動機、わかったこと、考えたこと、反省」を入れるようにさせる。 ○　自分の調べたことをわかりやすく発表できるように練習させる。 ☆　調べてわかったことや考えたことを自分の言葉で伝えることができる。
		（例）　昔のかまど かまど  なべやかまなどをかけ、その下で火をたく。真ん中は、左右のたきぐちとつながっている。	消しつぼ かまどで使った炭を入れる。使いかけの炭はまた使う。
生かす	2	⑦　学習をふり返って感想をまとめる。	○　これまでの活動を通して、うまくいったことやいかなかったこと、感想等をまとめる。

5　成果と課題

○　児童は、インターネットを活用して情報を集め、興味関心をもって取り組んでいた。

○　児童は、コンピュータの操作にも慣れ、発表資料作りも徐々にできるようになってきている。

●　自分で調べたことを表すことはできるが、自分の考えや思いを上手に表現できない児童がいるので、支援の仕方について研究したい。